

# しずくいしの風

## 高次脳機能障がいメールニュース

第1号 <2013年10月 発行>

いわてリハビリテーションセンター  
高次脳機能障がい者支援普及事業



### 目次

- 1 初刊にあたり
- 2 高次脳機能障がいを学ぼう
  - 第1回高次脳機能障がいとは

## はじめまして

この度、いわてリハビリテーションセンターでメールニュースを担当させて頂くことになった「プリ太」と申します。岩手県高次脳機能障がい者支援普及事業が始まってから5年が経ち、高次脳機能障がいという言葉を知っている人が徐々に増えてきておりうれしく思います。一方で、高次脳機能障がいという言葉は知っているけど、どのようなものかと言われると具体的にはよくわからないという声も聞かれます。そこで、高次脳機能障がいに関連する様々な情報や、県内で行われる様々なイベント情報等について毎月配信していきます。「しずくいしの風」を通して県内のネットワークを少しずつ広げていくことができればと思います。

## 高次脳機能障がいを学ぼう



### 第1回 高次脳機能障がいとは

交通事故や脳卒中によって脳に傷がついた場合に、言語、思考、記憶、行為、学習、注意などの能力に障害が生じることがあります。この生じた症状をまとめて高次脳機能障がいと言います。学術用語としての高次脳機能障がいは、脳損傷に起因する認知障害全般を指し、失語、失行、失認などの巣症状や認知症も含まれます。しかし、平成13年に始まった高次脳機能障害支援モデル事業で集められた脳損傷者のデータを分析した結果、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害を主要因として日常生活や社会生活に適應することが難しくなる集団があることがわかりました。そして、診断基準、リハビリや生活支援などの手法が確立されていないことから早急な検討が必要とされ、支援を推進する観点から、行政的にこの一群が示す認知障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害）を「高次脳機能障がい」と呼ぶようになりました。[診断基準はこちら](#)



高次脳機能障がいは、外見からはわかりにくいという特徴があります。気づきにくく周囲の理解を得にくくなることもあります。一方で、症状に合わせた支援をしたり、本人が対応方法を身に着けることで大きな支障なく生活できるようになることもあるため、周りの理解や支援が大切になります。[具体的な症状についてはこちら](#)

次回は記憶障害について学んでいきましょう